2026年　看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する取り組み計画

	2025年度までの取り組み		2026年計画
ア．業務量の調整	①フロアー・ブロックでの応援態勢 ②夜間休日は夜勤師長による業務調整 ③業務整理　2022年　IPADによる患者指導 2023年　音声入力一部導入 ④中材業務/手術室清掃業務委託化（2023年） ⑤手術室業務の効率化→手術曜日枠設定		⑥手術室・アンギオ・外来等でのインカムによる連携強化 ⑦スマートフォン（チャット機能）による連携強化
イ．看護職員と他職種の業務分担	薬剤師	①病棟薬剤師配置・持参薬対応 ②入退院センターでの抗凝固薬相談 ③アンプルピッカー導入 ④配薬車一部導入	⑤退院時服薬指導の推進 ⑥配薬車の配置部署の拡大
	リハビリ技師	①１０ABに言語聴覚士配置 ②吸引手技研修・実施	・休診日のリハビリテーション検討 ・心臓リハビリテーションの実施
	放射線技師	①検査室の酸素付け替え研修・実施 ②造影剤ルート確保(2023年) ③心電図モニターの検査前後の脱着	④造影剤ルート確保推進（指導者の育成）
	臨床工学技師	①呼吸器装着患者ラウンド ②病棟機器メンテナンス ③ロボット手術の介助	
	検査技師	①化学療法患者の優先採血 ②自己血採血実施（2023年） ③入院患者の採血室における採血	④入院患者採血の検討 ⑤検査説明動画の共同作成
	管理栄養士	①病棟担当管理栄養士配置	
	その他	①薬剤メッセンジャー休日麻薬の返却 ②修理物品の回収ラウンドの実施 ③中材業務委託化・手術室清掃業務委託 ④医療メディエーター配置	
ウ．看護補助者配置	①ベッド隊・搬送隊・衛生隊の設置 ②技能実習生導入 ③平日夕方・土日の夜勤学生アルバイト雇用（2023年）		④特定技能制度の活用による看護助手 ⑤夜勤看護補助者派遣導入検討 ⑥学生アルバイト雇用促進
エ．短時間看護師の活用	①病棟配置促進 ②短時間勤務者夜勤勤務推進		③短時間勤務者の変形労働時間制の導入
オ．多様な勤務形態の導入	①夜勤→日勤への変更可能（1ヶ月単位） ②夜勤態勢の2つのパターン導入・新シフト導入（2023年） ③シフト記号の多様化（早出・遅出） ④臨時採用者の勤務時間に対応した新シフト導入		⑤夜勤専従看護師の増員
カ．妊娠などによる看護職員に対する配慮	①夜勤免除　②他部署への配置転換 ③産休・育休者に対する面接ガイド作成		④付属病院機関における異動（希望） ⑤パパ育休の促進「子育て応援ガイド」作成
キ．夜勤負担軽減	①専任夜勤師長による相談調整機能 ②看護補助者の遅出シフト21時まで追加 ③平日夕方および土日の夜勤学生アルバイト雇用		④適正看護要員配置の見直しによる交代制勤務者の確保 ・特定技能制度の活用による看護助手 ・学生アルバイト雇用促進